

第380回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 2021年7月26日(月)
- 2 開催場所 テレビ新潟本社
- 3 委員総数 8人 出席委員 7人

出席委員

|       |     |       |      |
|-------|-----|-------|------|
| 若杉 隆平 | 委員長 | 田村 明子 | 副委員長 |
| 徳山隆太郎 | 委員  | 富田 智晃 | 委員   |
| 柳川かおり | 委員  | 本宮 宏美 | 委員   |
| 迫 一成  | 委員  |       |      |

会社側出席者

|                     |            |
|---------------------|------------|
| 代表取締役社長             | 小山 章司      |
| 取締役コンテンツ本部長         | 寺内 邦彦      |
| コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長 | 羽田 朗       |
| 報道制作局長              | 竹野 和治      |
| 制作部長                | 須山 司       |
| 合評番組プロデューサー         | 吉野 龍太      |
| 事務局                 | 道場拓哉 吉田 康宏 |

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「夕方ワイド新潟一番 One Day ある日あるヒト」

[2021年4月9日(金) 5月7日(金) 6月10日(木) 15:48-16:50 放送]

(説明 : 夕方ワイド新潟一番プロデューサー 吉野龍太)

### 2) 会社報告

①6月の視聴者の意見 (報告: 番組審議会事務局)

②講じた措置、議事概要の公表 (報告: 番組審議会事務局)

③訂正放送、取り消し放送の有無 (報告: 番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

会社側からは、『One Day ある日あるヒト』は、昨年4月からスタートし、月1回程度放送している。各ディレクターが一人で小さなカメラを持ち、取材対象者に密着しながら、もっとも近い場所からその方の魅力や思いなどを引き出していくという内容。取材は1日だけという制約を設け、自らカメラで人物を撮影し編集してまとめる力をつけるという目的もあるため、月替わりで『夕方ワイド新潟一番』に関わるディレクター全員が担当している。

4月9日『夢を語れ新潟』は、Twitterで1年ほど前からラーメン店を開業しようと頑張っている若者がいることを知り、開店後は毎日行列が出来ているということで、Twitterのダイレクトメッセージで取材依頼を送った。開店1時間前から行列ができる人気店での密着取材だったため、新型コロナ対策と衛生面には特に気を付けた。なるべく調理場には立ち入らず、覗ける場所から手元や調理シーンを撮影し、据え置きカメラを3台設置して客との距離が近くならないようにした。

5月7日『FC越後妻有』は、取材対象の素の表情、周りの選手の声、応援してくれる地元の人々の声を録ることを意識した。そこで、撮影に入る前に彼女

が緊張しないように、ディレクターがトークで和ませて撮影に臨んだ。

6月10日『染物職人』は、越前浜という立地の珍しさと、雑草など身近な植物を原料に染めるという技法に興味を持ち取材を行った。取材対象の動きを常に意識しなければならず、撮影中にトイレや食事に一切行けないという苦労があった。とても興味深い方だったので、常にワクワクしながら撮影でき、モノづくりへのこだわりや考え方など、勉強になったことも多かった。

このように、ディレクターとして良い経験になる一方、撮影も一人で行うという取材体制のため、機材トラブルを懸念し取材に集中できないという面もある。ただ、一人で取材するという経験は、確実に各ディレクターの力となると信じているので、今後とも続けていきたい。」という趣旨の説明があった。

### (委員の意見)

- 取材対象者がオリンピックにできるようなすごい人たちではなく、自分たちの身近にいて、いまを肯定して過ごしているということが伝わってきた。
- 「自分もまた頑張ろう」という思いになったので、深夜に放送して20代から40代ほどの方に見てもらえたらおもしろいかもしれない。
- 地味な印象はあったが無理やりな演出はなく、様々なメディアに触れている若い人たちにもすんなり受け入れられる内容だった。
- ひとりのディレクターが1日だけ取材してまとめている、ということがわからなかった。取材の失敗も含めて、視聴者にもっとその点を伝えたほうがより興味を持てるのではないか。
- 10年後の自分についてのコメントから、いまの若い人たちはモノや職業に固執せず、物質的でないものを夢としてとらえているということが伝わった。
- これから取材をする人が10年後についてどのように答えるのかが楽しみ。次回以降も見たい。
- 子供たちを含め、今後どうしようかと考えている人たちにとって刺激となり、いろいろな方向性があるということがよくわかるような内容だった。

- 手振れしている映像が多く、3本続けて見ていたら酔ってしまった。
- ラーメン店を開店した20代の若者のエネルギーが伝わってきた。創業者との出会いの部分をもっと知りたかった。
- なぜカメラに映されている人がこんなに緊張していないのか疑問があったがディレクターの事前のトークで緊張をほぐしていたという説明で納得できた。
- 染物職人の「失敗や不成功の数には自信がある」という言葉が印象に残った。積み重ねてきた経験と年月はいい言葉になって出てくるという点が素敵だった。
- 感動や共感は、「驚き」「達成」「充足」「回帰」の4つほどに区分されるといわれるが、地域に根付いた放送局としてはエンターテインメントなどの「驚き」よりも「充足」や「回帰」にポイントを置く方がいいと考えている。何気ない日常にフォーカスを当てた自然体な内容は、「充足」「回帰」の観点では視聴者に受け入れやすいと感じた。
- 一日限定で取材をするという点はいいコンセプトなので、機会があればその後がどうなったかも取材してほしい。
- ちょっと特別な人、見て心に残るような人を取材するという人選もよかった。またその人を温かく見守るようなスタジオアナウンサーの目線、表情が変化に富んでいた。
- あまり肩がこらず、刷り込みもなく、自然体で自分がいまやりたいことができている、そこに意義を見出すことが、すばらしい生き方のひとつであることを感じさせた。
- 取材された人たちが謙虚に控えめに様々なことを言っているが、自分では言いきれてないこともあるのではないかと。それでも聞いてみたいという気持ちがあるので、誰かが背景などをささやくようなサイドインフォメーションがあれば、より幅や深さが出たのではないかという気がした。
- 完成品ではなくプロセスを出していることは、局として意味ある取り組みだと思う。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月……156件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2021年6月28日)から、昨日(2021年7月25日)まで総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

### 1) 前回第379回審議会では、

「TeNY開局40周年記念 夢は牛のお医者さん」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

### 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第380回放送番組審議会の公表

### 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

### 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

### 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第379回番組審議会議事録
- ・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(N0.227) ・民間放送新聞(2183号)

以上